

議会だより



1月19日(土)、鹿部中央公民館にて平成30年度芸術鑑賞会「国指定 重要無形民俗文化財 松前神楽」を開催しました。松前神楽は、昨年3月8日に指定を受け、現在、最新の国の重要無形民俗文化財となっています。

当日は、町内から140人の方々が来場され、迫力のある演舞やひょうきんな演舞に大きな拍手と歓声が挙がっていました。最後には獅子舞が登場して観客席を練り歩き、今年1年の厄除けと健康が祈念されました。

第76号の掲載内容

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| ○第4回定例会の概要…………… 2 P | ○委員会の活動…………… 8 P～9 P |
| ○一般質問…………… 3 P～6 P | ○会議出席状況…………… 10 P |
| ○議員全員協議会の概要…………… 6 P～7 P | ○議会の行事…………… 10 P |

発行／鹿部町議会 編集／鹿部町議会運営委員会

委員長 浦 梅吉、副委員長 千葉 光義
委員 船橋 敦子、委員 高橋 茂夫

〒041-1498 北海道茅部郡鹿部町字宮浜 299

TEL 01372-7-5296 (直通) FAX 01372-7-3086

～平成30年第4回定例会～

● 12月12日～12月13日（会期は2日間で、実日数は1日間開催）

今定例会は、町長行政報告、一般質問の後に承認1件、条例2件、補正予算5件、その他議案1件の審議を行い、全て原案のとおり可決、承認され会期を1日残して閉会しました。

承認

◆平成30年度鹿部町一般会計補正予算専決処分報告の承認について

地方自治法の規定により専決処分をしたもので、9月12日付けで歳入歳出それぞれ525万2千円を追加し、予算総額を28億2264万2千円としました。

内容は、9月5日に北海道に上陸した台風21号の影響により、ホタテ養殖施設の一部が被害を受け、鹿部漁業協同組合が事業主体となり進めている「鹿部地区ホタテ養殖施設強靱化事業」を一部前倒しして実施するため追加補正したものです。

条例

◆鹿部町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

◆鹿部町職員の給与に関する条例の一部を改正する

条例の制定について

人事院勧告に基づき、一般職の給料を平均0.2%引上げ、期末勤勉手当の支給率を100分の5引上げる改正と、一般職の期末勤勉手当の支給率引上げに伴い、特別職の期末手当を100分の5引上げるものです。

補正予算

◆平成30年度鹿部町一般会計補正予算について

歳入歳出それぞれ490万2千円を追加し、予算総額を28億7166万4千円としました。

内容は、平成29年度国保会計法定外繰出金の精算に係る基金積立金の追加や駒ヶ岳演習場流末対策工事に係る不発弾探査費用の追加が主なものです。

◆平成30年度鹿部町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算について

歳入歳出それぞれ500万6千円を追加し、予算総額を8億3636万2千円としました。

内容は平成29年度国庫負

担金償還金及び道負担金償還金の追加が主なものです。

◆平成30年度鹿部町介護保険事業特別会計補正予算について

歳入歳出それぞれ10万2千円を追加し、予算総額を3億5414万1千円としました。

内容は、第1号被保険者の保険料還付に係る補正です。

◆平成30年度鹿部町後期高齢者医療特別会計補正予算について

歳入歳出それぞれ137万8千円を減額し、予算総額を5743万2千円としました。

内容は、広域連合納付金の額の確定による減額が主なものです。

◆平成30年度鹿部町水道事業会計補正予算について

収益的支出を55万6千円減額し、支出の総額を8996万2千円としました。内容は、給与条例の改正による職員給与の追加及び当初予算編成後の人事異動等による職員給与の減です。

その他

◆定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定の締結について

定住自立圏形成協定の一部を変更するものです。

変更内容は、1つ目として、広域医療救急体制の充実に関する事業の推進にあたり、医療従事者の確保・養成に関する取組みの追加。

2つ目は、産業振興に関する事業の推進において、圏域市町が連携して地場産業の育成や販路開拓を推進する事業を支援する事項の追加。

3つ目は、国の定住自立圏構想推進要綱に規定されている連携を具体的事項に沿った用語に整理するものです。





高橋 茂夫 議員

長期停電時等の防 災対策について

9月に発生した町内全域停電時には、関係者の懸命な対応で大きな混乱もなかったように思います。

しかし近年、全国的に頻発する異常気象による自然災害、地震・噴火災害により甚大な被害が発生している現状に鑑み、今回の対応から見えてきたハード・ソフト面の課題として、「災害対策本部の非常用電源の確保時間」、「水道施設用非常用発電機の配備と運用」、「リゾート内美駒平地区の概法華踏切での貨物列車緊急停止による一時的孤立状態の発生に対する対処等」の対応が急務であると思われま

す。町民の安心・安全を確保するためには、防災体制の強化が必要であると考えますが、今後の対応について町長の考え方をお伺いいたします。

また、陸路が全て通行止めとなった場合、空路・海路での物資供給について関係機関と事前協議されていると思いますが、その状況と道々大沼公園・鹿部線の「迂回路新設」の見通しについてお聞きします。



■答弁の要約
非常用電源の確保時間については2日弱使用可能となっております、水道施設用非常用発電機は新年度において整備したい。

また、美駒平地区孤立状態の避難道路については関係者間の協議により有事には活用でき、道道大沼公園鹿部線についても協議検討を行って参りたい。

(答弁者)
盛田 昌彦 町長

ご質問は、この度の北海道胆振東部地震により見えてきた3点の課題と今後の対応、陸路が遮断された場合の対応及び道道大沼公園・鹿部線の「迂回路新設」の見通しについてです。

まず、一点目の「災害対策本部となる役場庁舎の非常用電源の確保時間について」ですが、軽油による備え付けの発電機1台で、防災行政無線の親局、Jアラート受信機、役場非常用コンセントの電源供給を賄い、タンク容量が15Lで15時間となりますが、役場に

は30L前後の軽油を保管しておりますので、最低でも2日弱の45時間は使用可能となっております。

二点目の水道施設用非常用発電機の配備と運用については、現在水道施設における非常用発電が必要な箇所は4か所あり、うち3か所は非常用発電機を配備しておりますが、残りの1か所については、周辺の貯水タンクでの対応が可能であることから配備はしていません。

しかし、この度の停電を教訓とし、新年度において整備したいと考えております。

三つ目の「リゾート内美駒平地区の概法華踏切での貨物列車緊急停止による一時的孤立状態の発生に対する対処等」につきましては、JR北海道のほか、関係土地所有者と協議をしており、鹿部駅から大沼側へ200mの地点に設けられている線路横断トンネルの通行を避難道路として確保してございます。

この避難道路は、関係者間の協議により、平常時は通行できないようになってお

りますが、有事には避難道路として活用できることになっております。

次に、陸路が全て通行止めになった場合の空路、海路での物資供給については、函館地方石油業協同組合との協定により、石油協同組合加盟業者が保有しております船舶等で海路による供給を行うこととされています。また、自衛隊による空路での物資供給もあり、町内では4か所の離着陸場所が指定されております。

最後に、道道大沼公園・鹿部線の迂回路についてですが、平成28年の道路崩落時に迂回路新設につきましても協議検討を行っておりますが、確実な予算確保と工事の早期完成が見込まれました現道の地下水対策を選択したところです。

現状、連続雨量200ミリによる通行規制が敷かれておりますので、今後も早期の規制撤廃に向け、引き続き土砂災害対策の推進を強く要望して参るとともに迂回路新設についても協議検討を継続して行なって参りたいと考えております。

■再質問の要約
(質問者)

高橋 茂 夫 議員

美駒平地区の孤立状態の対処として、避難路を確保しているとお答えいただきましたが、もしこの地区で火災が発生すると消防車は通過できません。それらに対する対処はいかがお考えですか。

■再答弁の要約
(答弁者)

松川 総務・防災課参事

避難道路のトンネルには高さ制限がございます。緊急車両等が通行する際は、鹿部駅右側の現在JR大沼保線区管理局が使用している道路を使用して、若干迂回路となりますが、そちらの道を通って消防車・救急車を通行させると協議がなされております。

■再々質問の要約
(質問者)

高橋 茂 夫 議員

防災拠点の役場・消防庁舎が耐震基準を下回っております。

なおかつ津波の浸水区域になっているため、新たな場所への建設を、スピード感をもって実行すべきと考えますが、その進捗状況について伺います。

■再々答弁の要約
(答弁者)

盛田 昌彦 町長

防災拠点であります役場等の建替えについては、既役場等の建設に関して、既に私のビジョンを担当課外全職員にお示しをしているところですが、今年度、土地利用計画の策定を行っており、その中で町の考え、その後に町民皆様方にアンケートを取り、その際には、議員皆様方のヒアリングもあろうかと思いますが、その後に実施する方向で考えておりますので、今ここが良いというふうなことの公表は控えております。しかし、この防災拠点を建てるための国などの支援に期限等があり、その期限や支援等を逃すことのないよう早急に対応して進めて参りたいと考えております。



佐藤 頼幸 議員

自然災害対策について

自然災害の脅威は衰えることなく、今年も台風や地震による甚大な被害が、北海道各地で発生しております。

鹿部町においても漁業被害や北海道全域の停電（ブラックアウト）により、全業種に影響を及ぼし、更には住民生活の根底を脅かす事態が生じたところです。

自然災害は、毎年様々な形で全国各地に爪痕を残し、自然災害への対策、特に減災対策が急務と思われまますので、次の点について町長へお伺いいたします。

1点目として、台風21号などによる漁業被害の規模と金額、今後の対策について。

2点目として、ブラックアウトによる商業被害の規模と金額、今後の対策について。

3点目として、災害支援などの協定に関し、前回質問の際、大まかな内容説明でしたので、改めて協定件数と協定内容を、更にブラックアウトの際、協定関係にある業者の支援内容とその効果についてお聞きします。



■答弁の要約

被災した漁業者については施設の強靱化対策を進め、商業被害についても中小企業チャレンジ補助金申請受付の周知をして参りたい。また、災害時の協定件数は21件であり、協定を発動することにより、優先的に提供を受けられることとなっている。

(答弁者)

盛田 昌彦 町長

まず、1点目の台風21号などによる漁業被害の規模と金額、今後の対策については、漁協から報告を受けている漁業被害は、ホタテ養殖漁業のみで6612万1千円、施設被害が167万1千円、ホタテ水産物が5445万円となっております。

なお、被害漁家件数は18件でございます。

今後の対策については、天候・気候不順や海洋環境の変動によって度重なる被害に見舞われ、被災した漁業者につきましては今後の経営の継続も危ぶまれるこ

とから、施設の強靱化対策を今年度より3か年で進めて参ります。

なお、当該事業については、北海道補助の「地域づくり総合交付金」を活用し整備したところでありますが、台風21号により大岩の一部実施事業箇所にも影響を及ぼしたことから、平成31年度に計画しておりました事業を前倒しして、早急に実施しているところでございます。

2点目のブラックアウトによる商業被害の規模と金額、今後の対策についてですが、鹿部商工会から報告を受けている商業被害は、旅館やホテルの宿泊キャンセルで、総被害額は約2075万円です。

内訳は、旅館3軒で118名、ホテル1軒で2132名の合計2430名となっております。

また、各商店において冷凍食品などが解けて廃棄したのもあるとお聞きしております。

今後の対応については、今年度より中小企業チャレンジ支援事業補助金を創設したところであり、防災設

備についても100万円と上限はございますが、補助対象となりますので、来年度の申請受付に向けて周知して参ります。

3点目の災害時の協定件数と協定内容についてですが、町が協定を締結している件数は、全体で21件でございます。

まず、被害箇所の現況調査や障害物の撤去、輸送等を行う団体と3協定を締結しております。

次に避難場所の提供として敷地内又は建物内を避難場所として提供していただく協定を4社と3協定を締結しております。

その他に避難所や公共施設で、発電機やストーブ等の資器材のレンタル業者と2協定、飲料を含む食料品や日用品等の供給を行うものが4協定、避難所への段ボールベッドの提供を行う業者が2社1協定、実際に避難所での運営補助や緊急用車両の貸し出し、炊き出し、瓦礫撤去等の補助を行う団体との協定が3協定となっております。

また、石油類やLPガスなどの燃料系4団体と4協

定を締結しており、優先的に燃料の供給や復旧活動支援を行うことで災害対策本部等の機能維持や早期復旧の一助となるものでございます。

このほかに、陸上自衛隊第28普通科連隊とは災害対策本部運営補助等の協定を締結してございます。

以上が、町と協定を締結している21件の内訳でございます。

また、ブラックアウトの際の協定関係にある業者の支援内容と効果については、この度の停電の中、必要となる電源の確保をするためには、防災資器材のレンタル業者との協定を発動することで優先的に発電機の貸し出しが行えますので、役場を含めた公共施設での電源の確保が行える効果があります。

停電が長引き避難所を開設した際に、避難所の運営補助や段ボールベッド、食料品等の提供業者に協定を発動することで優先的に提供を受けられることとなっております。

なお、今回の停電では、町が保有している発電機で

役場や防災行政無線の屋外子局の電源は確保ができたため協定の発動はしていません。その他の施設等については、担当課で各々、発電機等の調達を行っておりますことを申し添えます。

■再質問、再々質問の要約 (質問者)

佐藤 頼 幸 議員

漁業被害等への国の補助制度は無いものですか。

また、アクティオとどのような提携を結んでいるかお聞かせ願います。

そして小学校に大きい発電機が一つあるが、燃料の予備は小学校にありますか。発電機で電力は保たれるのか。

また使い方を町の職員はみんな分かっているのか。仮設住宅等あると思いますが、モバイルハウスやトラックハウスなど直ぐ持つて来て直ぐ使用できる。

そういう業者とも話した方が良いと思う。段ボールベッドについて、一組作るのにいくらかかるのですか。

そして町の庁舎についても、これから何年後に造る

のですか。町民が使いやすい場所に建てなければならぬと思う。

国の補助制度で何年後と決まっているらしいが、期限内に本当にできるのか説明してもらわないと町民が分からない。

■再答弁、再々答弁の要約 (答弁者)

松川 総務・防災課参事

段ボールベッドの値段についてですが、1台段ボールベッドは定価で1万2千円程します。

小学校の発電機で電気が賄えるのかということでございますが、現在大型の発電機を2台用意しております。この2台によって小学校の全ての電源が確保できるようになっており、予備の燃料についてもホームタンクと地下タンクにて保管しております。

また、使い方については、入口の所に写真で全て図解説明しておりますので、誰が見ても使える状況となっております。

次にアクティオとの防災協定の内容ですが、提供で

一般質問

一般質問

きる品目としては、発電機、ストーブ、仮設トイレ、仮設ハウスなどアクティオが保管している物品を供給できるということになっております。

■再答弁、再々答弁の要約 (答弁者)

木村 水産経済課長

漁業被害への国の補助等につきましては、今回の場合は激甚災害に指定されていないことから国の補助はございません。

『ホタテ施設撤去作業』



■再答弁、再々答弁の要約 (答弁者)

盛田 昌彦 町長

まずモバイルハウスやトラックハウス等の協定も結んだ方が良くのではないかといいことですが、そういった事を広げて行くというのが一番減災になると思いますが、しっかりと勉強して参りたいと思っております。

役場建替えに対する支援の期限につきましては不透明な状況にあります。平成33年3月までに建てられたものに対して支援があるものですから、それに間に合うように早急に取組んで参ります。

今土地利用計画の中で、町民のアンケートを頂き、議員さんからのヒアリングもして最終的に決めて行くこととしております。

またその一方で、この支援については33年までと期限付きでございます。万が一間に合わないときの為、支援の延長や拡充等の要望も一緒にして参りたいと考えているところでございます。

『1日防災学校段ボールベッド作成風景』



『土地利用計画庁内ワークショップ』



議員全員協議会

議員全員協議会

◇平成30年第5回議員全員協議会

・開催月日

平成30年12月5日

・内容

定住自立圏形成協定に係る協定内容の一部変更について

協定内容の一部変更について協議しました。

変更内容

① 圏域内における安定的な医療提供体制の維持を図るため、医療従事者の確保要請に関する取り組みを追加。

② 圏域市町が連携して地場産業の育成や販路開拓を推進する事業を支援する事項を追加。



『第5回議員全員協議会』



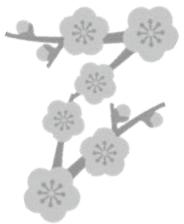
◇平成30年第6回議員全員協議会

・開催月日
平成30年12月27日

・内容
鹿部町土地利用計画について

本計画は、現在の第5次鹿部町総合計画に具体的に示されていない役場等の社会资本整備に関する展望や計画を策定するもので、今回は、役場、消防等の「行政・防災拠点エリア」、幼稚園などの「文教エリア」の設定の計画を進め、役場としての方針案を取りまとめたとの報告を受けました。

今後は、町民アンケートやワークショップ、議員との意見交換の場なども設け、最終的な方針を定め、庁舎の建て替えなどについては、活用できる支援策に期限があるため、早急に準備したいとの説明を受けました。



「第6回議員全員協議会」



議会を傍聴してみませんか

次回の定例会は、**3月上旬に**開催される予定です。

～傍聴手続きは簡単です～

傍聴席の入り口にある傍聴人名簿に住所と氏名を記入するだけです。



民生文教常任委員会所管事務調査

◇民生文教構成委員

委員長 船橋 敦子 委員 千葉 光義
副委員長 高橋 茂夫 委員 中川 一
委員 佐藤 頼幸

◇調査年月日

平成30年10月31日

◇調査事件

森町リサイクルプラザ及び
リレーポート茅部の視察について

◇調査方法

担当課より提出された関係資料に基づき説明を受け、
現地調査を実施した。

◇調査結果

■森町リサイクルプラザの概要

ゴミの減量化及び資源化を図り環境への負担を軽減するためのリサイクル施設で、平成18年4月から本格稼働している。

■年間処理量及び費用

年間の処理量は、平成29年度実績で1,607トンの資源ゴミを処理している。うち鹿部町分の処理量は232トンで、処理費用（委託料）は1トン当たり、68,796円（税込み）となっており、年間15,962千円の費用を負担している。

■施設の処理能力

1日5時間稼働で破砕施設（不燃ゴミ・粗大ゴミ）が5トン、資源施設（缶類・ビン類・ペットボトル・古紙類）が2トンで、一般家庭から排出される可燃ゴミ以外がリサイクルプラザに搬入され、空き缶、空きびん、ペットボトル、その他プラスチック、発砲トレイ、段ボール等の紙類の他、粗大ゴミや小型家電に混入される鉄くずやアルミ等も資源化リサイクルされている。

■リレーポート茅部の概要

一般家庭から排出された可燃ごみの中継処理施設で、コンテナ移動装置に詰め込みを行った後、アームロール車（搬送車）によって北斗市のゴミ処理焼却施設クリーン渡島に搬入される。

当町の一般家庭から排出されるゴミ処理量は、平成29年度実績で1,008トンとなっており、人口減少とともに年々減少傾向にある。内訳は、可燃ゴミ755トン、不燃ゴミ74トン、資源ゴミ179トンである。

一般家庭等から排出されるゴミの減量化、再資源化の推進は必要不可欠であると考えます。また、近隣市町で実施している粗大ゴミ有料化の検討、単身世帯向けゴミ袋の小型化、事業所から排出されるゴミ処理の適正化が課題となっている。これら課題解決に向けた施策に取り組むとともに、ゴミ減量化の意識啓発、更には資源ゴミのリサイクル化を積極的に推進し、地域住民は勿論のこと鹿部町を訪れる方にもきれいな町と感じて頂ける生活環境づくりに努められたい。



視察風景



調査風景



総務経済常任委員会所管事務調査

◇総務経済構成委員

委員長 吉 英樹 委員 浦 梅吉
副委員長 三谷百十樹 委員 川村 裕司
委員 野田 重毅

◇調査年月日

平成30年10月29日

◇調査事件

鹿部町の防災対策について

◇調査方法

担当課より関係資料に基づき説明を受け、調査及び現地視察を実施した。

◇調査結果

町では鹿部町地域防災計画に基づき防災・減災を図るため、防災体制の強化、防災備蓄品の拡充などに取組んでおり、災害時に被害を軽減するため、迅速かつ円滑な応急対応が求められることから平成29年9月に鹿部町災害時職員初動マニュアルを策定している。

当該マニュアルは、火山災害や津波、地震、大雨、防風、暴風雪、大雪、高潮などの災害が発生した場合の職員招集、避難の誘導、避難所の運営など実際に職員がとるべき行動が示されており、本年9月6日に発生した北海道胆振東部地震においても本マニュアルに基づき職員が対応した。

今回の胆振東部地震における対応状況について内部検証を行った結果、長時間に及ぶ停電により、庁舎内の基幹系ネットワークが使用できず住民票などの発行が不能となり住民サービスの低下を招いた。

また、大岩・鹿部地区の防災行政無線屋外スピーカーが聞こえない地域が一部発生した。

今後、同様のケースには、屋外局に電源を供給することと併せて屋内の防災行政無線の電池交換を定期的に行うよう周知徹底を求める。

防災対策において駒ヶ岳については、国及び北海道が最新の観測機器類を設置し随時観測を行っており、異常があった場合の連絡体制が整っている。しかしながら近年、全国的に異常気象による自然災害や地震・噴火災害により甚大な被害が発生しており地域住民の不安は、より一層大きなものとなっているので、町民の安心・安全確保を目指し引き続き防災体制の強化に努めて頂きたい。

また、災害対策の拠点施設である役場庁舎及び消防署が津波の浸水エリア内にあり、更には耐震基準等の問題があることから適地に新たな防災拠点施設の早期整備を望むものである。



調査風景



平成30年10月～平成31年1月 本会議及び各委員会等の出席状況

(○は出席、×は欠席、△は遅刻・早退、—は該当なし)

会 議	高橋 茂夫	吉 英樹	千葉 光義	野田 重毅	船橋 敦子	中川 —	浦 梅吉	佐藤 頼幸	三谷 百十樹	川村 裕司
総務経済常任委員会所管事務調査 (10/29)	—	○	—	×	—	○	○	—	×	○
民生文教常任委員会所管事務調査 (10/31)	○	—	○	—	○	○	—	○	—	—
第5回議員全員協議会 (12/5)	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○
議会運営委員会 (12/7)	○	—	○	—	○	○	○	—	—	—
平成30年第4回定例会 (12/12)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務経済常任委員会 (12/12)	—	○	—	○	—	○	○	—	○	○
民生文教常任委員会 (12/12)	○	—	○	—	○	○	—	○	—	—
第6回議員全員協議会 (12/27)	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○
議会運営委員会 (議会だより編集) (1/22)	○	—	○	—	○	○	○	—	—	—

議会の行事

11月

- 5日 第2回渡島廃棄物処理広域連合全員協議会 (関係議員)
- 13～14日 A級(永久)グルメのまち連合設立調印式 (議長)
- 9日 しかべ幼稚園おゆうぎ会 (各議員)
- 19～21日 渡島町村議会議長会行政視察、町村議会議長全国大会 (議長)
- 30日 第3回南渡島消防事務組合議会定例会 (関係議員)

12月

- 5日 議員全員協議会 (全議員)
- 12日 第4回定例会(1日目) (全議員)

- 19日 第2回鹿部町での地熱発電を考える検討会 (関係議員)
- 21日 渡島福社会理事会 (議長)
- 27日 議員全員協議会 (全議員)

1月

- 2日 鹿部消防出初式 (議長、関係議員)
- 7日 七飯消防出初式 (関係議員)
- 22日 議会運営委員会 (全委員)
- 28日 民生文教常任委員会所管事務調査 (全委員)
- 30日 総務経済常任委員会所管事務調査 (全委員)